学校番号	T0308

平成31年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第4学年	Revised ENGLISH NOW English CommunicationⅡ

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

・コミュニケーション英語Ⅱの授業ではコミュニケーション力の育成を第一義に考えます。

・コミュニケーション英語Ⅱの教科書の内容は生徒にとってレベルが高いかもしれないが、ゆっくり分かるペースで進めていかなければならない。

・本文で扱われる内容を多角的に捉え、生徒の興味・関心が湧く題材を数多く取り入れる予定である。

2. 学習到達目標(CAN-DOリストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第4学年】履修科目:「コミュニケーション英語Ⅱ」(2単位)　及び「英語総合B」(選択2単位)／主な教材: 教科書、自作教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・英語で長めの挨拶の受け答えができる。	コミュ英Ⅱ ・授業内での観察 ・スピーキングテスト	・自分のことを紹介する英文を書くことができる。	コミュ英Ⅱ ・ライティングテスト ・定期考査	・文章を視覚情報があれば、理解することができる。	コミュ英Ⅱ ・リスニングテスト ・スペリングテスト ・定期考査	・リズムやアクセントの位置を意識して文章を読むことができる。	コミュ英Ⅱ ・リーディングテスト ・定期考査
・質問に対して英文で答えることができる。	英語総合B ・スピーキングテスト	・自分の好きなものや嫌いなものを英文で書くことができる。	英語総合B ・単語テスト ・定期考査	・英語での挨拶を正確に理解することができる。	英語総合B ・リスニングテスト ・定期考査	・人物の名前や国の名前を正確に読むことができる。	英語総合B ・定期考査
・英語で買い物をしたり、道案内することができる。		・本文の英文を暗記し、そのまま正確に書くことができる。		・英語での指示を理解することができる(前に来る等、)。		・文章の意味を概ね理解できる。	

3. 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」	「外国語表現の能力」	「外国語理解の能力」	「言語や文化についての知識・理解」
実施方法	ペア、グループ活動に意欲的に取り組んだり、人前で英語を話すことに意欲的であることを評価できる方法で行う。(教員の評価＋生徒の評価を参考とする)	CAN-DOリストによる「話すこと」と「書くこと」の学習到達目標を評価できる方法で行う。	CAN-DOリストによる「聞くこと」と「読むこと」の学習到達目標を評価できる方法で行う。	教科書の内容理解に加え、日本の文化を伝えることができるかを評価できる方法で行う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。